

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 13 日現在

機関番号：34414

研究種目：研究活動スタート支援

研究期間：2016～2017

課題番号：16H06883

研究課題名(和文) アラブ世界における教育的地域連携 人的・教育機関の国境を越える展開に着目して

研究課題名(英文) Regional Collaboration for Education in the Arab World: Transnational Movements of People and Educational Institutions.

研究代表者

中島 悠介 (Nakajima, Yusuke)

大阪大谷大学・教育学部・講師

研究者番号：60780939

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,700,000円

研究成果の概要(和文)：本研究はアラブ地域で国境を越える教育的な連携がどの程度形成され、どのような機能を備えているのかを明らかにすることを目的としている。結果としてこの地域における高等教育制度の展開状況を広く明らかにするとともに、UAEにおける、他のアラブ諸国から進出した外国大学分校の特質として、地域共通の言語的・文化的・社会的基盤により展開していることを考察した。また、エジプト高等教育質保証における国家機関の役割として、高等教育機関のガバナンスを強化する側面がみられること、またアラブ・オープン大学が、分校が立地する国ぐにの高等教育制度と適合しながら展開し、緩やかな地域的なネットワークを構築しているという知見を得た。

研究成果の概要(英文)：This research aims at clarifying the development of the networks of education in the Arab region. As results, the developments of higher education systems in the region were overviewed, and some of the International Branch Campuses in UAE has been developed based on the language, cultural and social commonalities. In addition, the national organization for quality assurance of higher education in Egypt (NAQAAE) intends to strengthen the integration of higher education system in Egypt, and Arab Open University (the head office is located in Kuwait) has established the branch campuses in the Arab region (Saudi Arabia, Jordan and so on), and they are developed in accordance with the local education systems.

研究分野：比較教育学

キーワード：外国大学分校 高等教育の質保証 トランスナショナル高等教育 地域化 アラブ UAE

1. 研究開始当初の背景

近年、高等教育分野において国境を越える高等教育(トランスナショナル高等教育)の発展が急速に進行し、その形態の1つとして「外国大学分校」が挙げられる。特に、中東湾岸地域に位置するアラブ首長国連邦(UAE)では約40の分校が設置され、世界最大の外国大学分校受入国となっており、隣国のカタールにも約10の外国大学分校が進出している。これらの国々では「国民マイノリティ国家」として外国人が全人口の約9割を占めており、外国大学分校はこれらの外国人の子どもや留学生が多く就学することで発展してきたとされる。

一方で、アラブ首長国連邦やカタールを含む中東地域は「アラブ」という特質でもくくられる。アラブの範囲は、一般的に「アラビア語を話す人々がマジョリティを占める地域」として地理的に拡大され、東はUAEやカタールを含めたアラビア半島諸国から、西はチュニジア・モロッコなどを含む北アフリカ地域を指すとされる。また、このような言語的共通性に絡み、イスラームという共通の思想的基盤を備えている点で、東南アジアにおけるASEANやヨーロッパ諸国におけるEU等に比較して、地域社会統合的な基盤を備えているとも言える。

このように、言語的・宗教的・社会的共通性によりアラブ域内における交流は比較的容易であると考えられる一方、これまでの研究では教育部門の地域的交流について体系的に取りあげられてきたとは言いがたく、本研究を企画するに至った。

2. 研究の目的

上記の背景から、本研究では以下の点に着目して研究を進めた。

アラブ地域における政治・経済・社会的地域統合の展開状況の把握

アラブ地域の教育ネットワーク・地域的連携の様相を明らかにするための土台として、その背景になっていると考えられるアラブ連盟や湾岸協力会議といった、政治・経済・社会的な地域連携の展開状況及び、それぞれの枠組みにおける各国の役割・位置づけ等を把握すること。

アラブ諸国における高等教育制度の展開状況の検討

近年発展が目覚ましいアラブ諸国における高等教育制度の整備状況について、各国の高等教育関連法規を検討するとともに、エジプトに設置されている質保証機関である国家高等教育質保証・適格認定機構(NAQAAE)などの展開状況を明らかにすること。

アラブ地域における教育ネットワークの目的及び機能に関する事例研究
アラブ地域の高等教育機関のネットワー

クとしてアラブ・オープン大学等を事例に、これらの組織的・機能的な教育ネットワークの歴史的展開や発展の原理、その役割や機能等を明らかにすること。

3. 研究の方法

これらの目的を達成するために、主として以下の3点の方法で研究を実施した。

アラブ地域における政治・経済・社会的な地域統合の展開状況の把握

アラブ地域における教育ネットワークの展開状況を検討するための土台として、その背後にあると考えられる政治・経済・社会的な地域統合の展開状況を概観しておくことは必要であろう。各国の政治・経済・社会的な位置づけを、主として文献調査を通して概観した。

アラブ地域における高等教育制度の展開状況の検討

アラブ諸国における教育ネットワークの展開状況を明らかにするための基礎的作業として、各国における高等教育制度に関する資料(高等教育法・大学法など)を収集し、それらの翻訳を通して各国高等教育制度の整備状況を検討した。また、エジプトの高等教育機関であるアズハル大学やアインシャムス大学、高等教育省に訪問調査を実施し、高等教育制度に関する資料を収集するとともに、インタビューを実施して当該国における高等教育制度の展開状況を検討した。

アラブ地域において展開するアラブ・オープン大学に関する文献調査及び現地訪問調査の実施

この地域における国境を越える高等教育機関の展開については、アラブ・オープン大学が設置されており、クウェイトにある本部をはじめとしてバーレーン、エジプト、ヨルダンなど7カ国で展開されている。こうしたアラブ域内における国境を越える高等教育の展開を、その設置経緯や歴史的展開、運営戦略、教育内容、質の保証といった側面から検討するために、アラブ・オープン大学やクウェイト大学へ訪問調査を実施した。

4. 研究成果

研究の1年目である2016年度には、主としてエジプトやヨルダン、サウジアラビア、パレスチナなどのアラブ地域の国々の高等教育部門に焦点を当て、これらの国々においてどのような高等教育の制度的枠組みが形成されているのかを、各国の高等教育法を分析することを通して検討した。また、アラブ首長国連邦の外国大学分校に焦点を当て、レバノンやモロッコといったアラブ地域から進出している分校が、ほかの国々から進出してきた外国大学分校とはどのような異なる特質をもっているのかを明らかにした。

これらの研究成果の公表は、『アジアの「体制移行国」における高等教育制度の変容に関する比較研究』の中で、「[資料]高等教育委員会と大学に関する法令及び規則(サウジアラビア大学法)」、「[資料]ヨルダン大学法(ヨルダン・ハシミテ王国大学法)」、「[資料]高等教育に関する1998年法令(パレスチナ大学法)」などを刊行することを通して行われた。また、論文「アラブ首長国連邦における国民と外国大学分校 教育ハブの中の「アラブ基盤型」発展論理」は日本比較教育学会の機関紙である『比較教育学研究』に研究論文として掲載された。

以上の研究では、中東アラブ地域における高等教育の展開状況を広く明らかにするとともに、アラブ首長国連邦における、他のアラブ諸国から進出した外国大学分校の特質として、欧米諸国等からの外国大学分校とは異なり、アラブ地域共通の言語的・文化的・社会的基盤によって展開していることを明らかにした点から、アラブ地域の緩やかな教育的連携の紐帯を指摘した点に意義がある。

研究の2年目である2017年度には、主としてエジプトの高等教育質保証において国家が果たす役割に焦点を当て、文献資料を渉猟するとともに、アズハル大学およびインシャムス大学において現地調査を実施し、大学教員や質保証関係者に対してインタビュー調査を行った。同時に、アラブ地域の高等教育機関のネットワーク化の事例として、クウェイトに本部を構えるアラブ・オープン大学を訪問し、アラブ地域において国境を越えて展開する高等教育機関の組織構造や教育内容についてインタビュー調査を実施した。

これらの研究成果は、日本比較教育学会第53回大会における口頭発表「エジプト高等教育質保証における国家教育質保証・適格認定機構(NAQAAE)の役割・機能と課題」として報告した。また、アラブ・オープン大学に関する調査については、研究年度内に成果として公表することが困難であったため、次年度に『大阪大谷大学紀要』等における論文および学会発表等の形で公表する予定である。その他、アラブ地域の高等教育国際化について、日本学生支援機構の機関紙である『留学交流』において「アラブ諸国における高等教育国際化 UAE、カタール、エジプトを事例として」の中で最新の状況を紹介した。

以上の研究では、エジプトにおける高等教育質保証における国家の役割として、高等教育機関のガバナンスを強化しようとする側面がみられること、また、アラブ・オープン大学が、ブランチャが立地する国ぐにの高等教育制度と適合しながら展開することによって、緩やかな地域的な高等教育ネットワークを構築しているという知見を得た。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計7件)

中島悠介、カタールにおける外国大学分校をめぐる2国間関係 テキサス A&M 大学カタール校を中心に、アジア教育研究報告、査読有、第15号、2018年、32-44頁。

中島悠介、アラブ首長国連邦における「道德教育」科目導入の社会的背景に関する一考察、大阪大谷大学紀要、査読無、第52巻、2018年、1-14頁

(https://osaka-ohtani.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=233&item_no=1&page_id=13&block_id=23)

中島悠介、エジプトにおける「特別活動」を通じた日本式教育の導入と課題に関する考察 現地報道を手がかりに、教育研究(大阪大谷大学教育学部)、査読無、第43巻、2018年、47-55頁

(https://osaka-ohtani.repo.nii.ac.jp/?action=pages_view_main&active_action=repository_view_main_item_detail&item_id=237&item_no=1&page_id=13&block_id=23)

中島悠介・開沼太郎、「道德教育」制度改革の国際比較にみる教職教育の課題、大阪大谷大学教職教育センター紀要、査読有、第9号、2017年、35-55頁。

中島悠介、アラブ諸国における高等教育国際化 UAE、カタール、エジプトを事例として、ウェブマガジン留学交流、査読無、2017年、46-51頁

(<https://www.jasso.go.jp/sp/ryugaku/related/kouryu/2017/09.html>)

中島悠介、新学習指導要領における「地域」の位置づけに関する考察 小学校における「道德」「総合的な学習の時間」「特別活動」を中心に、地域連携教育研究、査読有、創刊号、2017年、97-103頁。

中島悠介、アラブ首長国連邦における国民と外国大学分校 教育ハブの中の「アラブ基盤型」発展論理、比較教育学研究、査読有、第53号、2016年、93-115頁。

〔学会発表〕(計7件)

開沼太郎・中島悠介「教育課程改革の国際比較にみる教育行政の課題～アラブ諸国における『道德教育』『特別活動』の導入に着目して」関西教育行政学会2018年度第5回例会、2018年。

中島悠介「ドバイにおける外国大学分校の展開 インドの高等教育機関に焦点を当てて」第6回TINDAS研究会「教育と社会班」、2018年。

中島悠介「湾岸諸国における海外分校質保証の分析枠組みの検討 課題の整理」第53回アジア教育研究会、2017年。

中島悠介「エジプト高等教育質保証にお

ける国家教育質保証・適格認定機構 (NAQAEE) の役割・機能と課題」日本比較教育学会第 53 回大会、2017 年。

中西啓喜・柳田雅明・飯田直弘・中島悠介・御手洗明佳・シムチュンキャット・花井渉「国境を越えて機能するキャリア教育プログラムを、国際バカロレアが可能にするのか 国際バカロレア・キャリア関連プログラム (IBCP) を中心に」日本比較教育学会第 53 回大会、2017 年。
柴恭史・高見茂・中島悠介「COCOLO 域における地域志向の学びと実践 「京都創造論」と「京都のまちづくり」の成果」第 23 回 大学教育研究フォーラム、2017 年。

中島悠介「アラブ首長国連邦における国境を越える高等教育 その展開と特質」第 9 回 新・複合社会論研究会、2016 年。

〔図書〕(計 4 件)

李霞編著 (中島悠介章分担)、東信堂、グローバル人材育成と国際バカロレア アジア諸国の IB 導入実態、2018 年、計 216 頁。

南部広孝編著 (中島悠介章分担：ヨルダン・ハシミテ王国)、京都大学大学院教育学研究科、後発国における大学院教育及び学位制度の導入と変容に関する比較研究 (資料集)、2018 年、計 311 頁。
南部広孝・中島悠介編著、広島大学高等教育研究開発センター、付加的プログラムの展開から見たアジアの大学教育 (高等教育研究叢書 134)、2017 年、計 93 頁 (<https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/files/public/4/42977/20170516142340444584/RIHE134.pdf>)。

南部広孝編著 (中島悠介章分担：サウジアラビア王国、ヨルダン・ハシミテ王国、パレスチナ)、京都大学大学院教育学研究科、アジア諸国における高等教育法・大学法 (資料集)、2016 年、計 265 頁。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

中島 悠介 (NAKAJIMA, Yusuke)

大阪大谷大学・教育学部・講師

研究者番号：60780939